

S I P 第 3 期「人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 8 年 5 月 2 8 日

人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備
プログラムディレクター 山海 嘉之

今般、S I P 第 3 期「人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備」においては、これまでの研究開発事業の進捗を踏まえ、より効果的な取組へ発展させることとし、戦略及び計画の一部変更を行った。変更点は以下の通り。

1. I. Society 5.0 における将来像、II. 社会実装に向けた戦略

世界的なフィジカル AI の活発化を踏まえ、「HCPS 融合サイバニクス with フィジカル AI」を軸として革新的領域の技術開発・社会実装の推進を行うものとして記載を更新した。

グローバルベンチマークについて、海外でのロボティクス及び AI 分野の取組状況の情報を更新した。

2. III. 研究開発計画

研究開発テーマ 4「人協調ロボティクスにおける HCPS 要素技術研究開発」の取組の進捗を踏まえ、下記の観点から修正を行った。

●テーマ 4「人協調ロボティクスにおける HCPS 要素技術研究開発」

2026 年 3 月時点で、複数ベンダーのロボットを一つのアプリケーションから監視・操作するためのシステムの開発が実施できたため、以降は本テーマにおけるデータ連携用情報ソケットの開発を終了し、以降サブ課題 1、サブ課題 2 を推進する事業推進者全員で連携しながら実装を進めることを記載した。

研究開発事業について、全 10 件の研究開発事業の進捗に伴い、実施方針、個別の研究開発テーマ（ユースケース、実施内容、研究実施体制、研究開発に係る工程表、予算配分額、過年度までの進捗状況）の記載を更新した。

3. IV. 課題マネジメント・協力連携体制、V. 評価に係る事項

課題担当者及びピアレビュー構成員に関する体制・所属の変更等について修正を行った。

以上